神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

ポテンシャルを引き出せ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-11-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福嶌, 教隆, FUKUSHIMA, Noritaka メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/2297

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



ポテンシャルを引き出せ

福嶌　教隆（Noritaka FUKUSHIMA）

天理大学で 6 年，神戸市外国語大学で 35 年，計 41 年間，大学教員として過ごした。その間，国内ではイスパニア語（スペイン語）に関連した事柄の教育に，国外では日本語・日本文化の教育に携わってきた。

中学・高校の英語の教員免許を取得し，学部の卒業論文で日本におけるイスパニア語教育を扱った私にとって，語学教育は大きな関心事だった。だが，教壇に立ったばかりの頃は，肩に力が入りすぎて，不必要に厳しい授業になることが多かった。やがて厳しすぎず，優しすぎない，自然体の授業のこつが，おぼろげながら見えてきた。退職が迫るころ，ようやく悟ったのは，「授業とは，教師が学生に与える場ではなく，学生の持つポテンシャルを引き出す場である。教師はそのための触媒に過ぎない」ということだった。

わが身を振り返れば，私の中からなけなしのポテンシャルを魔法のように引き出して下さった恩師，先輩，同僚，後輩に常に恵まれてきた。この方々の助けがなければ，到底，今のような形ですら任期を全うすることはできなかったであろう。

本学内外の研究者はもとより，学生諸君のエネルギーと独創性に常に啓発されてきた。大学職員の方々には，終始親身になって研究教育のサポートをしていただいた。思い返せば理想的な環境だった。学園都市キャンパスに移転して以来，使用し続け，本と資料で埋もれてしまった研究室をすっかり片付け，2017 年 3 月 31 日，無事に明け渡すことができた。

お世話になった全ての人に，心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。また，神戸市外国語大学が一層発展し，今後も若人たちのポテンシャルを引き出して下さることをお祈りします。